

令和5年度安城市総合計画審議会第2回 議事（要旨）

日 時	令和5年10月19日（木）午前10時00分～11時30分	
場 所	市役所本庁舎 第10会議室	
出席者	委員	寺田覚会長、太田良子副会長 佐野真紀委員、鈴木健司委員、安田孝美委員、久恒美香委員、渥美純一委員、筒井広治委員、都築豊彦委員、鳥居卓司委員、宮下晴美委員、河田光司委員、酒井麻利子委員、柴田知幸委員、戸田こず恵委員、富田清治委員、近藤裕己委員
	事務局	市長、副市長、教育長、企画部長、行革・政策監、関係部次長、健幸=SDGs課長、健幸=SDGs課長補佐、健幸=SDGs課職員
次 第	1 市民憲章唱和 2 市長あいさつ 3 副会長の選出 4 議題 (1) 第8次安城市総合計画及び第2期安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括について (2) 第9次安城市総合計画案について 5 その他	

1 市民憲章唱和

2 市長あいさつ

皆さまおはようございます。本日はご多用のところ、第2回安城市総合計画審議会にご出席いただき誠にありがとうございます。いよいよ来年度から8年間、新しい第9次安城市総合計画をスタートさせる時期が近づいてまいりました。これまで委員の皆様におかれましては、審議会または分科会におきまして、慎重なご審議をいただきまして本当に感謝を申し上げます。

この新しい第9次総合計画では、現行の第8次総合計画の基で推進してまいりました「市民一人ひとりが豊かさと幸せを実感できるまちづくり」を継承しつつ人口減少、少子化問題をはじめとした社会問題の解決をするために子どもを核としたまちづくりが必要であるというように考えまして、目指す都市像を「ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 安城」としました。そして、この目指す都市像を実現するための施策をこれまで委員の皆様からのご意見を頂戴しながら練り上げてまいりました。その成果が、ただいま皆様のお手元に配付をさせていただいております計画書の案ということになります。

本日の審議会では2つの議題についてご審議を賜りたいと存じます。一つ目は、これまでの健幸（ケンサチ）まちづくりを進めてまいりました現行の第8次総合計画の8年間の取組を通じてどのような成果が得られたのか、あるいは課題がなお残っているのか、そういったところを振り返りまして、新しい総合計画につなげるための総括をお願いしたいと存じます。

そして、2つ目の議題としては、新しい第9次総合計画の具体的な数値目標となります成果指標を示させていただきます。これまでの審議の中で委員の皆様から頂戴しましたご意見に対しまして

の事務局としての対応のご説明もさせていただき予定でございます。

本日の審議会を經まして、今後は、パブリックコメントを行いまして市民の皆様から広くご意見を頂戴する予定としております。委員の皆様におかれましては本日も様々なお立場、見識からのご意見を賜りたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、私からの冒頭のご挨拶とさせていただきます。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

### 3 副会長の選出（事務局説明）

#### 【寺田覚会長】

副会長には、太田良子委員を指名いたしますので、よろしくお願いいたします。

### 4 議題

（1）第8次安城市総合計画及び第2期安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括について

#### 【寺田覚会長】

皆さんこんにちは。本日の議事の進行を務めさせていただきます寺田です。よろしくお願いいたします。

本日は議題（1）「第8次安城市総合計画及び第2期安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括について」と議題（2）「第9次安城市総合計画案について」の2つの議題を審議します。円滑な議事運営ができますよう皆様のご協力をお願いいたします。それでは、事務局より議題（1）「第8次安城市総合計画及び第2期安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括について」の説明をお願いします。

（事務局説明）

#### 【寺田覚会長】

ありがとうございました。事務局からご説明がありましたが、ご質問やご意見ありましたらご発言をお願いします。

#### 【近藤裕己委員】

成果として、第8次総合計画は目指す都市像が健康都市ということなので、「健康」と「住みよさ」の数値が上っていて素晴らしいと思いました。ただ、住みよさの数値が93%ということになると、正直、これ以上上げていくのは難しいかなと思いました。大切な指標ですが、新しい指標が必要かなと思いました。

また、成果指標の総括についての感想ですが、一番大事な指標として、健康であると感じている人であるとか、住み続けたいなどの指標があると思います。そして、それを裏づけるものとして、具体的な数値目標があるのかなと思います。ですので、説明の仕方を裏付けから大きな目標へという順番の説明の仕方をしていただくと、市民としてはわかりやすく、ありがたいかなと思いました。

一つ質問ですが、健康であるという気持ちなどを聞いているのは、住民意識調査なのか、個別の

計画でのアンケートなのか、どうでしょうか。

【健幸=SDG s 課長】

現在の第2期安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、プロジェクト1で「健康であると感じている人の割合」という数値が大題目としてありまして、それぞれのプロジェクトに重要業績評価指標が設定されております。ですので、近藤委員がおっしゃるような大題目に向けて、それぞれの施策の目標が記載されている形になっているかと思えます。

一方で、第8次総合計画では、それぞれの目標が個々に上げられており、その取りまとめということはありません。新しい第9次総合計画では総合計画と総合戦略を一体化しており、大題目の目標に向かう重要業績評価指標というように設定しております。第9次総合計画を説明する際には近藤委員がおっしゃったような説明の仕方を心がけてまいりたいと思えます。

また、指標については、安城市にお住いの無作為抽出した3000人を対象に実施する調査以外に、個別計画で実施したアンケートで数値を取得しているものもあります。

【行革・政策監】

最初に健康であると感じている人の割合をこれ以上高めるのは難しいのではというご意見をいただきました。確かにそういうご意見もわかりますが、引き続き市としては、そういった姿勢は必要だと考えております。

【鈴木健司委員】

確認なのですが、子どもの分野の実績値で、ひとり親家庭福祉に対する満足度がありますが、アンケート対象はひとり親家庭だけでしょうか。

【健幸=SDG s 課長】

こちらは無作為抽出した3000人を対象としたアンケートになります。

【鈴木健司委員】

そうすると、この数値が低いのは当たり前かなと思えます。ひとり親家庭でない家庭はひとり親家庭を対象とした福祉制度についてあまりご存じないと思えます。そのため未達成だというのは、確かにそうなのですが、少しミスリードしそうな出し方ですので、第9次総合計画の時には施策の対象を絞ってアウトカムを出していただくとよいと思えます。

【健幸=SDG s 課長】

ありがとうございます。そういった対象を絞ったアンケートは、個別計画で取らせていただければと思っております。

【寺田覚会長】

アンケートはメール等を活用して行っているのですか。

【健幸=SDG s 課長】

郵送でアンケート調査票を送付して実施しております。

【寺田覚会長】

私の感想なのですが、3年近くコロナで施設、それこそイベント等を行う場所については未達成になるのはいたしかたないかなと思えますが、例えば雨水対策だとかはコロナとの関係があって未達成なのか、それとも別の理由があるのでしょうか。

【建設部長】

雨水貯留施設に関する指標が未達成である理由については、直接的なコロナの影響は思い当たりませんが、社会経済活動が全体的に停滞したことを受けて、開発等の分野にも影響が生じ、開発にともなう雨水貯留施設の設置が進まなかったかもしれないと思っております。

【寺田覚会長】

結果は出ていますので、数値に対して大きな意見はありませんが、数値が90%を超えているものについては継続しなくても、そして未達成の指標で重要なものは新たな計画に組み入れた方がよいのかなと思いました。

それでは議題（1）「第8次安城市総合計画及び第2期安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括について」の審議を終了します。続いて、議題（2）「第9次安城市総合計画案」についての審議に移ります。

議題（2）第9次安城市総合計画案について

【寺田覚会長】

こちらの議題につきましては、新たに示されました成果指標についての数値と審議会からの意見対応等を中心に審議いたします。

それでは、まず、事務局より説明をお願いいたします。

（事務局説明）

【寺田覚会長】

成果指標についてご質問ご意見ありましたら、ご発言をお願いします。

【近藤裕己委員】

質問です。今回の第9次総合計画では子育てに重点を置いておられるかと思いますが、その中で一番重要でわかりやすい指標が「子育て環境に対する満足度」かと思いますが、これが57.5%が目標ということなのですが、一番重要視されている割には数値が低いなと感じています。

また、満足度について数値を取る時に、子育てをしている人、する可能性がある人を対象に取るのかそうでないのかということでは、また数値が変わってくると思います。もちろん、ここに深く関わっている方の満足度が大きくないといけないと思いますので、今後数値を取る時にそういったことを意識して工夫して数値を取っていただければと思います。

【子育て健康部長】

こちらの数値は子育て世帯以外も含める全世帯を対象とした市民アンケートの結果に基づいた目標となっております。アンケートの対象を変えるというのは、これまでの経緯もありますので、難しいかなと思っております。

【近藤裕己委員】

市の支援制度を対象となる方の多くが知らないということでしたので、例えば、「支援制度を知っていますか」という設問ですとか、対象となる市民の生活と指標がつながっていくような工夫があれば市民も分かりやすいかなと思います。自分の生活につながっている指標があれば、わかりやすく安城市が頑張っているというのも伝わりやすいかなと思いました。皆が分かりやすいものの方が

成果の向上にもつながっていくかと思っておりますので考えていただければと思います。

**【子育て健康部長】**

近藤委員がおっしゃることはごもっともだと思います。総合計画とは別に、子ども・子育て支援事業計画ですとか、こども計画を今後策定する予定でございますので、その中で検討してまいります。

**【寺田覚会長】**

重点戦略の「ちから」の箇所、人口1人当たりの市民所得の目標が450万とありますが、市民目線で見ると、450万円というのはどういう数値なのだろうと感じます。これについてご説明いただければと思います。

**【健幸=SDGs課長】**

市民所得は、市内に所在する企業、住民、雇用者報酬、財産所得、こういったものを合計したものです。こちらを安城市の人口で割ったものが、人口1人当たりの市民所得になります。この目標値を450万円に設定いたしましたのは、コロナ禍前の経済が上向いていた時の最高値がこの数値であったためでございます。コロナ禍の影響で、安城市の1人当たりの市民所得が大分下がってきてしまったので、改めて人口増加も含めて市民所得も、計画期間である8年をかけて好調であった時の数値まで戻していきたいという考えに基づいて、こちらの数値を設定しております。

**【寺田覚会長】**

市民の方が分かるのでしょうか。企業所得と従業員も含めてということでしたが、重なっていませんか。

**【健幸=SDGs課長】**

県による市民所得の定義では、企業及び住民の事業報酬、財産も入ってきてしまいますが、重なってはいないと思います。あくまで、市民1人ひとりが自分自身でちからの蓄えをしていただきたいということで設定しております。市としても、それに向けた企業誘致等にも取り組んでまいりたいという考えから、この市民所得というものを数値目標に設定しております。

**【寺田覚会長】**

本当にこれが達成できれば、こんなに良いことはないと思いますので、是非頑張ってお取り組みいただきたいと思っております。

もう1つ、学校教育の分野にコミュニティ・スクールの設置率という指標があります。この数値が策定時0%から目標値100%になっています。8年間で100%にするということですが、達成可能ですか。

**【教育振興部長】**

コミュニティ・スクールについては、各中学校区に設置をしていく予定でおります。地域学校の協働活動と一体化して進めていくということで、令和5年度にモデル校の抽出、令和6年度に実証事業を立ち上げ、令和7年度に実施ということを考えております。その後、水平展開で各中学校区に広げていくという予定になっております。29校全部やるということではありませんが、各中学校区でコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進していくということでございます。そのような進め方で2031年度までに100%を目指しております。

**【寺田覚会長】**

設置可能なところが100%という意味合いでしょうか。

【教育振興部長】

すべての中学校区で実施できれば100%を達成という目標でございます。

【寺田覚会長】

地域学校協働活動の指標については、学校と生涯学習課のどちらが主導するのですか。

【生涯学習部長】

地域学校協働本部、活動自体の推進は生涯学習課で進めてまいります、コミュニティ・スクールと一体で進めてまいりますので、常にバランスをとって進めてまいりたいと思います。

【寺田覚会長】

健全育成会とはどういう絡みになりますか。それとは別でやられるのでしょうか。

【生涯学習部長】

基本的に別物です。

【河田光司委員】

第9次総合計画も重点戦略がはっきりと決まっています。その担当課や担当部のタテの仕切りがあるかと思いますが、達成が芳しくない時に、どこの部の方が横串を刺すのかなというところが質問です。

成果指標が未達成の場合、担当課だけの問題ではなく、横串を刺すまとめ役の方がいらっしゃると思いますが、そこについて質問したいのと、進捗状況を本来であれば四半期ごとに見直して現場に落としていくのがタイムリーかなと思っています。見直しを半期ごとにやるのか、特に大事なものについては、より短いサイクルで見直しを行っていった方が達成に近づくのではないかなと思っています。ただ、重点以外の全ての指標も四半期ごとに見直すことは難しいと思いますので、タイミング等はどうか。

【健幸=SDGs課長】

とりまとめは、健幸=SDGs課が横串を刺して進捗管理を行っていくということになります。見直しのタイミングですが、総合計画全体としては、中間の見直しに向けて2年に1回アンケート調査等を行って数値を取っていくということになります。それ以外に個別計画においても、総合計画と連動して色々な指標を持って実施していますので、そういったところで短い期間での見直しということもあろうかと思っています。総合計画としては、計画期間の中間での見直しということでやらせていただければと思います。

【河田光司委員】

第9次総合計画も、「しくみ」「ちから」「ばしょ」と切り分けしてあって、このあたりも担当課は決まってらっしゃると思いますので、それを公表していただいた方が良いかなと思いましたが、単独の課では為し得ないこともあると思いますので、横串を刺すのは健幸=SDGs課にしても、複数の部が試行錯誤してミーティング等を行って実施していくような工夫も必要かなと思いました。

【行革・政策監】

総合計画の進捗につきましては、総合計画審議会で毎年報告しています。その場で委員の皆様からご意見をいただき、その後の施策について検討をいたしておりますので、審議会でまたご意見をいただければと思います。

**【寺田覚会長】**

それでは、成果指標の数値につきましては、これで審議を終了いたします。続きまして、総合計画審議会の意見対応について、事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

**【寺田覚会長】**

これまでの審議会での意見への対応についてご説明がありました。何かご意見ありましたらご発言お願いいたします。

**【佐野真紀委員】**

先程の成果指標の説明のところで、コミュニティ・スクールの設置率のお話が出ていましたが、コミュニティ・スクールの設置は法律で決まったのでやらなくてはいけないことですので、粛々と進めていただくということになるのかなと思います。その中で大事なのは、コミュニティ・スクールの設置が形骸化しないよう、どのようにやるか中身が大事だと思っております。取り組み始めるということなので、0から100にするということで良いと思うのですが、中身も見ていくということは大事な発想なので、例えばアンケート等でデータを見ていくということはできないでしょうか。こども計画はこれから作られるということでしたので、そういった中で、中身を見るための数値を取るためにアンケートの設問を設ける等、実際にどう動いていくのかわかるような数値を設けられたらいいのかなと思います。

**【教育振興部長】**

令和7年度にモデル校で実施しますので、まずはその中で課題を抽出いたします。その課題によって今後の展開を考えてまいりますので、アンケートを取るというお話がありましたが、まずは課題の抽出を行ってまいりたいと思っております。

**【佐野真紀委員】**

安城は色々なことを中学校区で実施されています。中学校区で区切るのは良いと思うのですが、地域ごとの課題を見つけていただいて、コミュニティ・スクールの設置の箇所等をご検討いただければと思います。

**【寺田覚会長】**

町内会の話になりますが、コロナ禍のためにこの3年くらいほとんど学校との接触をしていません。その間に学校側の親しい方もほとんど異動にされたりして、皆知らないということが起きています。町内会側も1、2年生の町内会長さんはコロナ禍で活動がなかったので、何もわからないということがあります。このような状況の中でコミュニティ・スクールの立ち上げていくのは本当に大変だと思っておりますので、頑張ってくださいと思います。

**【近藤裕己委員】**

全体的な意見なのですが、一番大事なのは、市民がこれを把握してこれに向けて動くということかなと思います。そのためには参加することが大事なのですが、多くの方は興味がないと思いますので、市がどんなことをやっているのかをまずは市民に知っていただくことが大事だと思います。

そのうえで、市民参加にどのようにもっていくかということが、これから大切になってくるのだ

と思います。まず広報やホームページ等を活用してということの良いと思うのですが、何か市民参画のきっかけを作って、みんなで実施して頑張っていきましょう、そして、最終的な成果としてこれだけ貢献できたということになればやってよかったということにつながると思います。

あと、地域によって需要が変わってくると思います。以前住んでいた豊田市では、地域内分権ということで、ある程度中学校区で予算をつけて地域で催しものなど、自由に色々取組をさせていただいていました。アンケート等もそうですが、地域ごとの需要などは異なるかと思いますので、地域ごとのニーズに応じていくということであれば、中学校区ごとに調査いただくと、それぞれの需要がわかるのかなと思います。そういった視点も入れていただければと思います。

#### 【健幸=SDGs課長】

市民の方へ周知をしていかななくては浸透していかないと思っています。第8次総合計画でも「健幸（ケンサチ）」というフレーズを使って周知を図り、市民に浸透したことが先程の満足度向上につながっていると考えております。第9次総合計画は子どもを核としたまちづくりということで、施策を打ち出して市民に周知をさせていただき、目標が達成できるように取組を進めていきたいと思っています。

地域ごとにとという点については、個別計画では個々の地域を見て、より細かい部分に対応しております。総合計画としては、まず全体を見て、総合計画に基づく個別計画の中では、各地域の特性に応じて施策を進めていく形になるかと思っています。

#### 【行革・政策監】

中学校区ごとでの市民アンケートのとりまとめもしておりますので、個別計画でもその結果を見ながら施策に取り組む必要があると考えております。

#### 【寺田覚会長】

それでは他にご意見も無いようですので、審議会の意見対応につきましてはここまでといたします。

以上で本日の議題は一通り終了いたしました。最後に学識委員から本日の審議会につきまして総括のご意見をいただければと思います。

#### 【佐野真紀委員】

今日はまず第8次総合計画の総括から入りましたが、大変わかりやすく総括をまとめていただきありがとうございます。前計画の総括と次期計画で何を重点的に見て行くかというところは、割とおそろかになりがちと思っています。他の自治体では意外とこの点が議論されないということが多いのですが、目標の達成、未達成、そして未達成の内訳まで出していただき、次に何を目指していくかということがわかりやすく示されたかなと思います。こうした資料を用いて市民の皆さんに伝えられるような何かしくみがあると良いと思いました。

そして、第9次総合計画については、審議会で色々な意見が出てきたことに対して非常に丁寧に真摯に議論をしていただいたようで、とても充実した計画になったのではないかなと思います。

今回は子ども、子育てが中心ということですが、地域づくりということにも目を配っているなと感じました。この審議会もそうなのですが、安城の方々は非常に建設的な意見を述べてくださっているなと感じています。そういった方々を中心に地域づくりを進めていっていただけるのではないかと期待しております。

審議会、分科会を通して、非常に積極的な意見が述べられており、市の方々もそれに対して意を汲み取って計画を作っていくという姿勢が見られましたので、この計画が市民と協働で作られられたなと感じています。

**【鈴木健司委員】**

第8次総合計画の総括として、達成と未達成、未達成の理由等も詳細にまとめていただいていますので、わかりやすかったです。また、未達成の指標については、次の第9次総合計画等に盛り込むという姿勢も連続性があって素晴らしいと感じました。

近藤委員もおっしゃいましたが、総合計画はあまり市民の方に知られていません。学生に聞いても総合計画を知らないという学生は多いです。是非、第9次総合計画のPRについては、ホームページに掲載されると思いますが、市民団体さんの会合や小学校へのアウトリーチも積極的に行っても良いのかなと思います。

KPIにつきましては、第9次総合計画のKPIは非常に洗練されてきたなと思います。これも第8次総合計画のKPIを踏まえてなので連続性があって素晴らしいと思います。ですが、あくまでもKPIは目標なので、あまりそれに縛られることなく本当にやるべきこと、やりたかったこととズレが出ないように今後見直しや進め方を考えていただければと思います。

**【安田孝美委員】**

委員の皆様から多くの意見が出ましたので、私も興味深くお話を伺っておりました。第8次総合計画の総括、第9次総合計画の資料がわかりやすく色使いもよく、紙媒体としては大変素晴らしい資料をお作りいただいたと思います。また、計画としては非常にしっかりしたものができあがったと思います。その上で、これから長い期間の計画になりますが、全体的に心のこもったデジタル対応というところを、この計画をバックボーンとして個別の計画でも考えていただけると良いかなと思います。

この計画の市民への周知が不十分だというお話がありました。これはどこの自治体でも言われています。安城市が特に遅れているということではないのですが、この際、Z世代に向けて、安城をこれからこうしていくのだということや、どう認知させていくかということをお考えいただくと良いのかなと思います。中高生くらいになりますと、わが町がどういう方向を向いているかということに興味があるという子もやり方によっては出てくると思います。色々なことを考えていただいて、心のこもったデジタル対応というところで、紙媒体では素晴らしい資料ができていますので、これをウェブやSNSでどう載せていくかということも考えて、広報等を行っていただければと思います。

様々なデジタルの推進事例、実証事例が安城からも出てくるかと思いますが、そういったものも是非温めながら進めていただいて、発信していただければと思います。

また、KPIの達成・未達成も大事なのですが、どうしてそれが達成だったのか未達成だったのか、定量的な評価に加えて、定性的な評価も大事で、それをどう見つめていけるかということをお考えいただくと良いのかなと思います。

大変良い総合計画ができたと思いますので、この総合計画を基にして個別の事業が計画通りに推進されますことを期待しております。

**【寺田覚会長】**

ありがとうございました。成果としては、これでできあがりということになりますが、今、町内会

も会長がほぼ1年生、2年生でノウハウがない人が多い状況です。この総合計画について、来年度町内会の新人研修で取り上げます。是非、市の職員にも出ていただければと思います。また、審議会に出られた委員の皆様のご所属を見ますと、是非それぞれの組織でも、総合計画の勉強会をやったらいいのではと感じます。そうすることによって、多くの方たちに広めていただければと感じています。

なかなかホームページや広報等といっても、皆さん見なかったりしますので、様々な会議でちょっとでも説明していただけると良いかなと思います。

それでは、以上を持ちまして本日の審議を終了いたします。本日委員の皆様から出された意見につきましては、事務局にて検討していただき、必要な修正を加えた上でパブリックコメントを実施していただくということで、本件については了承することに皆様異議はございませんか。

(異議なし)

#### 【寺田覚会長】

それでは、事務局に進行をお返しします。

#### 【健幸=SDGs課長】

委員の皆様には、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

第9次総合計画策定に関する今後のスケジュールをご案内いたします。お手元の「事務局説明スライド資料」の最後のページ、または前のスライドをご覧ください。

本日いただいた意見を踏まえ、計画案に加筆修正をいたしまして11月8日(水)からパブリックコメントを実施いたします。そして、パブリックコメントでいただいた意見を踏まえた最終的な計画案を、年明け1月19日(金)総合計画審議会でお示しいたします。

次回の総合計画審議会は11月17日(金)の午後2時より、本日と同じ第10会議室にて開催いたします。議題としては、新たな第9次総合計画に基づく令和6年度～令和8年度の実施計画についての審議を予定しております。総合計画の策定と前後する形での審議となりますが、引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 【司会】

ありがとうございました。以上をもちまして、第2回安城市総合計画審議会を終了いたします。本日は、誠にありがとうございました。